

令和4年度 第1回

## 行政監査結果報告書

「第6次山元町総合計画関連事業に  
係る実績値等について」

山元町監査委員

# 目 次

## 第1 監査実施概要

- 1 監査テーマ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 監査テーマの趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 3 監査の着眼点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 4 監査対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 5 監査実施期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

## 第2 監査結果

- 1 まちづくりの基本方針における現況と課題について・・・・・・・・ 2
  - (1) 健やかな暮らしをともに支えるまちづくりに取り組みます・・・・ 3
  - (2) 地域の資源を生かした産業の振興と活力あふれるまちづくりに取り組みます・・・・・・・・ 3
  - (3) のびのびと学び、夢と志を育むまちづくりに取り組みます・・・・ 4
  - (4) 快適な生活を支える、コンパクトで安全・安心なまちづくりに取り組みます・・・・・・・・ 4
  - (5) 質の高い持続可能なまちづくりに取り組みます・・・・・・・・ 5
- 2 総合計画に関連した令和3年度主要事業の予算執行状況について・・ 6

## 第3 監査意見

- 1 総括意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 2 基本方針（施策の大綱）進捗度に関する個別意見・・・・・・・・ 10

## 第1 監査実施概要

### 1 監査テーマ

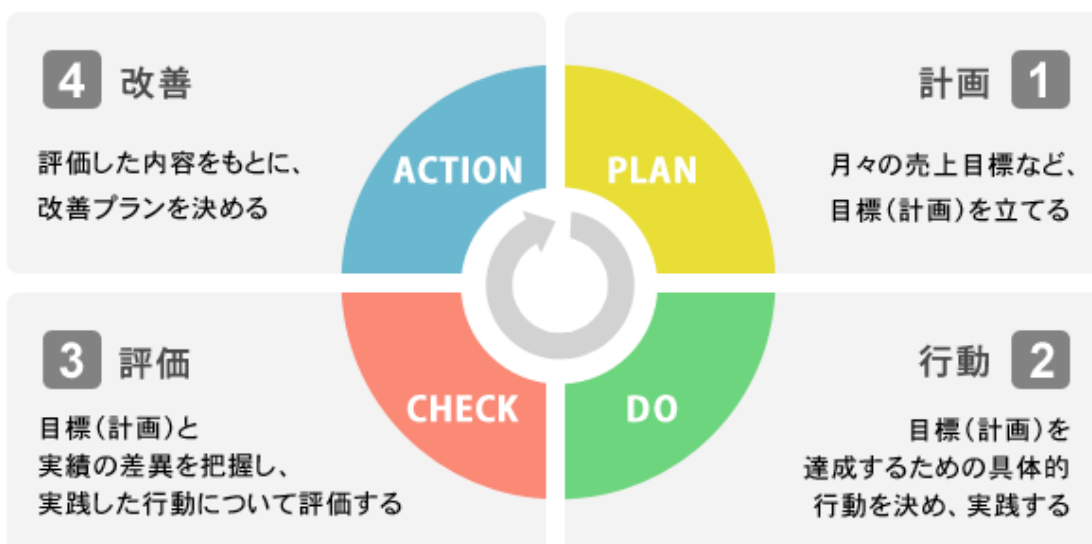
「第6次山元町総合計画関連事業に係る実績値等について」

### 2 監査テーマ選定の趣旨

町は、令和元年度から令和10年度までの10年間の計画期間とした「第6次山元町総合計画」（以下、「総合計画」という。）を令和元年度に策定し、その計画に基づき各種事業を計画、予算の執行を行っている。

総合計画では、令和元年度から令和5年度までの5年間の実施計画期間を定め、その中で必要に応じて毎年、新規事業の追加・事業の組み換え等の整理を行うこととしている。PDCAサイクルによる町の自己評価は必要であるが、監査委員として、予算執行状況、総合計画内の各種目標値（中間値）に対する実績値を客観的に確認することで、令和6年度以降の実施計画の追加・変更の一助となることを期待し、テーマ選定を行った。

#### ※PDCA サイクル（イメージ図）



### 3 監査対象

- (1) 総合計画の基本計画内で設定している目標指標の令和3年度末の実績値
- (2) 総合計画に関連した、令和3年度主要事業の予算執行状況

### 4 監査の着眼点

- (1) 令和3年度当初予算において計画していた総合計画関連各種事業は、適切に（過不足なく）予算執行されているか。
- (2) 令和5年度末を中間値とした目標指標に、令和3年度末の実績値がどれだけ近づいているか。

### 5 監査の期間

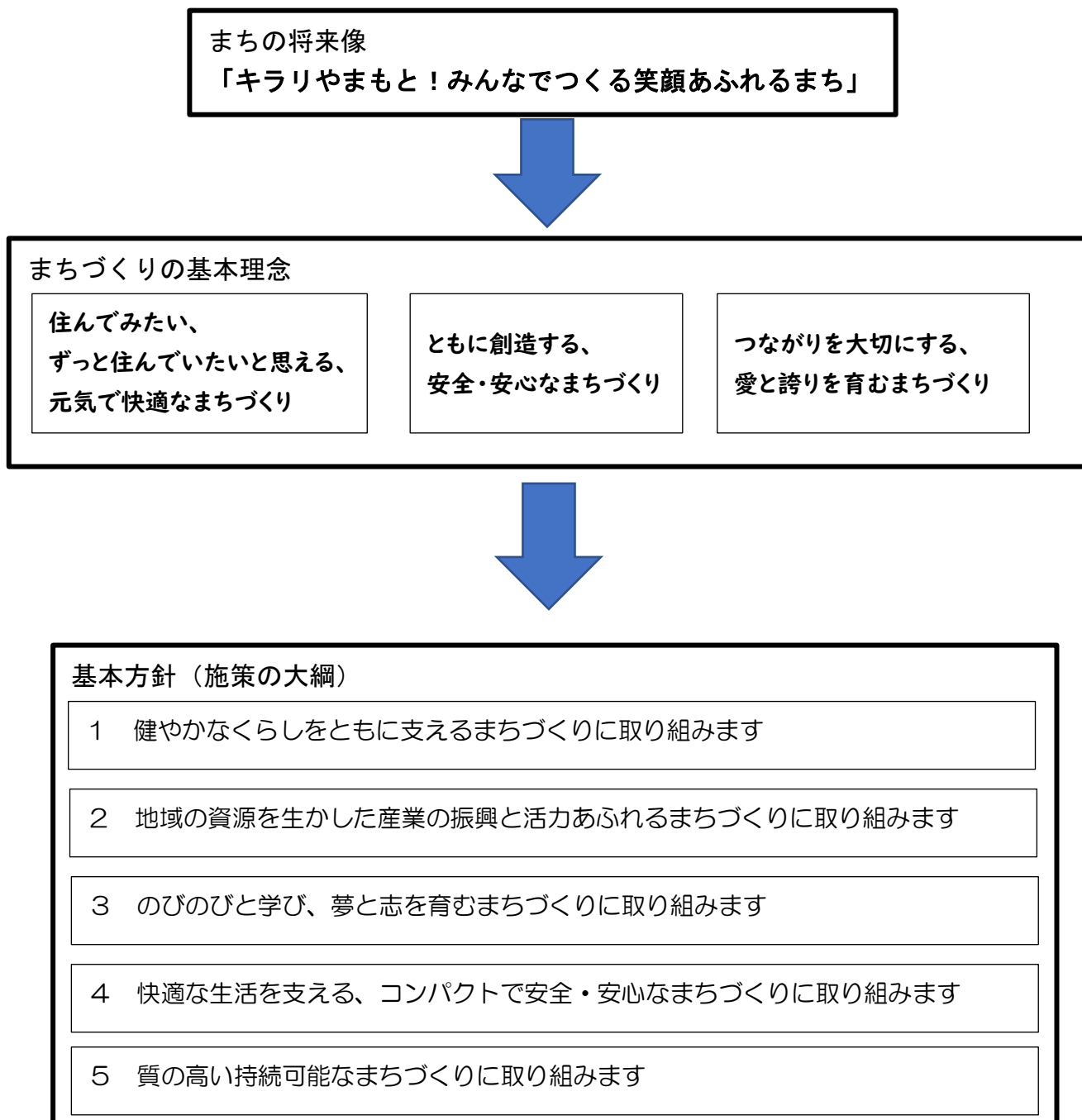
令和4年9月8日から令和4年10月21日まで

## 第2 監査結果

### 1 まちづくりの基本方針（施策の大綱）における現況と課題について

総合計画は、下図のとおり、まちづくりの将来像、基本理念、基本方針（施策の大綱）を策定し、基本方針に沿った施策を行うための目標指標を定めている。今回の行政監査においては、前述のとおり令和3年度末時点の各指標の実績値を確認し、令和5年（2023年）時点の中間値にどの程度近づいているのかについて検証・評価を行った。

#### ※総合計画のイメージ図



(1) 健やかな暮らしをともに支えるまちづくりに取り組みます

目標指標	現状値 (2018年)	実績値 (2021年)	中間値 (2023年)	目標値 (2028年)
合計特殊出生率	1.11	1.13	1.19	1.22
3歳児虫歯のない 子どもの割合	75%	69%	80%	90%
特殊健診受診率	49.1%	-	55%	60%
メタボリックシンド ローム該当者率及び 予備群	37.1%	37.2%	30%	23%
就労移行支援事業の 利用者数	4人	6人	6人	8人
認知症サポーター養 成講座受講者数（累 計）	733人	984人	1,300人	1,900人

(2) 地域の資源を生かした産業の振興と活力あふれるまちづくりに取り組みます

目標指標	現状値 (2018年)	実績値 (2021年)	中間値 (2023年)	目標値 (2028年)
農林水産業産出額	268千円	-	289千円	309千円
雇用者数	3,398人	-	3,700人	3,700人
交流人口数 (観光客入込数含)	550,000人	820,000人	1,000,000人	1,000,000人
新規転入者数 (移住定住支援補助 金を受け転入した人 数の累計)	640人	950人	990人	1,230人

※着色部分：監査実施時点で中間値に到達している事業

「-」表示：国及び県で所管している数値を引用しており、現況値から数値が更新されていないもの

(3) のびのびと学び、夢と志を育むまちづくりに取り組みます

※アンケート対象：小学校6年生、中学校3年生

目標指標	現状値 (2018年)	実績値 (2021年)	中間値 (2023年)	目標値 (2028年)
将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合	小 85.2% 中 72.8%	小 80.4% 中 68.5%	小 87.0% 中 75.0%	小 90.0% 中 78.0%
「授業の内容がよく分かる」と答えた児童生徒の割合	小 77.8% 中 67.6%	小 86.3% 中 71.4%	小 80.0% 中 72.0%	小 83.0% 中 76.0%
家庭学習をしている児童生徒の割合	小 63.1% 中 9.1%	小 72.7% 中 4.5%	小 65.0% 中 11.0%	小 68.0% 中 14.0%
町民 1 人当たりの図書の貸出数	0.37 冊/人	0.54 冊/人	0.47 冊/人	0.57 冊/人
町民 1 人当たり社会教育・社会体育施設の利用回数	14.8 回	10.5 回	16.2 回	17.5 回

(4) 快適な生活を支える、コンパクトで安全・安心なまちづくりに取り組みます

目標指標	現状値 (2018年)	実績値 (2021年)	中間値 (2023年)	目標値 (2028年)
震災前と比較した避難路整備による時間短縮率	5.2%	15.9%	17.4%	17.4%
人身交通事故発生件数	38 件	14 件	34 件	31 件
定時定路線バスの人口当たり利用者数	1.6 人	1.5 人	1.6 人	1.7 人
デマンド型乗合タクシーの人口当たり利用者数	0.4 人	0.4 人	0.6 人	0.7 人
汚水処理人口普及率	82.8%	81.4%	87.8%	93.0%

※着色部分：監査実施時点で中間値に到達している事業

(5) 質の高い持続可能なまちづくりに取り組みます

目標指標	現状値 (2018年)	実績値 (2021年)	中間値 (2023年)	目標値 (2028年)
一人1日あたりのごみ排出量	914g	1,022g	800g	700g
リサイクル率	22.8%	21.5%	27.5%	30.0%
審議会等への女性委員の登用割合	27.3%	36.5%	28.5%	30.0%
町税収納率	97.0%	97.1%	97.6%	98.0%

2 総合計画に関連した令和3年度主要事業の予算執行状況について

今後とも状況の変化に柔軟に対応するとともに、効果の最大化を狙った予算執行に心がけていただきたい。  
(単位:千円)

事業内容	当初予算 (a)	補正予算 (b)	決算額 (c)	割合 c/(a+b)	備考
(1) 健やかな暮らしをともに支えるまちづくりに取り組みます					
小規模保育事業所設置推進事業	17,500	▲8,222	9,213	99%	
障害者緊急短期入所支援事業	2,702	0	2,700	100%	
季節性インフルエンザ予防接種助成事業	660	0	227	34%	見込より実績が少なかったため(ワクチン供給量も不足)
(2) 地域の資源を生かした産業の振興と活力あふれるまちづくりに取り組みます					
農水産物直売所貸出用自転車格納施設建設事業	5,000	0	3,705	74%	
振興作物産地化奨励事業	7,315	▲1,500	5,432	93%	
移住・定住支援事業	128,619	36,843	157,581	95%	※当初予算に繰越額42,333千円含む。決算額に次年度繰越額60,446千円含む。
水産物供給基盤機能保全事業	40,000	0	38,898	97%	
花畑プロジェクト事業(ひまわり祭り)	1,650	0	1,421	86%	
交流拠点ネットワーク推進事業	1,300	0	1,000	77%	



(単位：千円)

事業内容	当初予算 (a)	補正予算 (b)	決算額 (c)	割合 c/(a+b)	備考
<b>(3) のびのびと学び、夢と志を育むまちづくりに取り組みます</b>					
スポーツ・レクリエーション複合施設整備調査・基本計画策定事業	15,000	500	15,084	97%	
小・中学校校務支援システム構築事業	6,030	0	5,647	94%	
ICT支援員配置事業	46,200	0	45,689	99%	
コミュニティ・スクール設置運営事業	368	0	220	60%	
子どもミュージカル活動支援事業	500	▲500	0	-	コロナ禍のため、事業中止
学校教育充実事業（みのりプロジェクト）	571	0	326	57%	
<b>(4) 快適な生活を支える、コンパクトで安全・安心なまちづくりに取り組みます</b>					
地域防災計画改定事業	11,894	0	4,837	41%	県の津波浸水想定公表がR4年5月になったことに伴い、一度契約を完了とし、4年度に再発注したもの。
防災重点農業用ため池浚渫事業（田中溜池、下宮前溜池）	57,000	0	47,241	83%	
鷺足川排水路旧用水掛樋撤去事業	24,000	4,000	30,307	108%	

(単位：千円)

事業内容	当初予算 (a)	補正予算 (b)	決算額 (c)	割合 c/(a+b)	備考
河川維持管理事業（浚渫、安全対策工事等）	10,750	0	11,286	105%	
幹線道路等整備事業（避難路、主要町道整備）	493,921	1129	487,789	99%	決算額に次年度繰越額 237,894 千円含む。
(5) 質の高い持続可能なまちづくりに取り組みます					
町民相談事業（弁護士相談）	1,099	0	849	77%	
町民体育館長寿命化改修事業（工事等）	285,520	▲285,454	0	-	R3.2.13 地震により事業計画見直し

### 第3 監査意見

#### 1 総括意見

総合計画は、計画書の巻頭挨拶のなかで、「創造的復興から新たなステージへと高みを目指す」と表明し、本町が将来的に「キラリやまもと！みんなでつくる笑顔あふれるまち」づくりをするためのプロセスが重要となる計画であり、取り組み姿勢の見える化も同様に重要な意味を持つものと考えている。

総合計画は令和元年からスタートしたが、令和3年、4年と福島県沖で最大震度6強、本町では震度6弱を観測する地震の発生、新型コロナウイルスの感染拡大の影響等の外的要因により計画推進にブレーキがかかったものの、ここまで果敢に取り組んできたことが伺える。監査実施時点では、目標指標24項目のうち、中間値に到達したものが5項目、初期値（現状値）より後退したものが8項目であった。その他のものは横ばい、もしくは若干の向上に留まっている。

東日本大震災から12年が経過したが、現時点でも復興関連事業が継続しており、震災の恐怖と被災した人々の悲しみは何年たっても消し去ることはできないが、それでも、まちの将来を「笑顔あふれるまち」をつくろうと高らかに宣言したからには、これまでの遅れを挽回し、着実に計画を推進していただきたい。

全国地方自治体も人口減少と少子高齢化という同様の問題を抱えており、若者の定住化促進に必死に取り組んでいるさなか、山元町が選ばれるだけの訴求力を獲得するのは決して容易なことではない。本町が平凡な過疎の町となることがないように、先進他自治体の成功事例を研究しつつ、山元町ならではの魅力を付け加え、または創出していくことが必要である。

また本町は先般、小学校を1校に再編すると明確に結論づけたことから、教育改革に一層拍車がかかることを期待する。新しい小学校には児童の安全が担保され、デジタル先端技術を駆使した先進的な教育の場の構築を望みたい。これを本町の魅力にすることで「子育てするなら山元町」へ大きく前進できるものと考えている。

令和5年度は総合計画のちょうど中間点に位置することから、本計画の総点検を行い、教育、産業、環境等の諸分野で新しい取り組みを組み入れてローリングする必要がある。そのときには魅力あふれる新しいまちづくりの景色を描いていただきたい。「笑顔あふれるまち」は「なる」ものではなく、「つくる」ものだという初心を忘れず、推進の担い手である町職員には今後とも自信と誇りを持って邁進することを望む。

## 2 基本方針（施策の大綱）進捗度に関する個別意見

### (1) 健やかな暮らしをともに支えるまちづくりに取り組みます

重点的に取り組もうとしているメタボリックシンドロームと3歳児虫歯のない子どもの割合については、現状効果が出ていないとみられる。特に、虫歯罹患者の割合に関しては一歩後退しており、啓蒙活動の強化が必要と考えられる。

### (2) 地域の資源を生かした産業の振興と活力あふれるまちづくりに取り組みます

ア 交流人口数は、農水産物直売所「夢いちごの郷」や各種イベントの盛況等により順調に増加している。

イ 新規転入者数はほぼ目標値となっている。移住定住促進施策は充実していることから、本町の魅力をいかに拡大、PRするかが今後の課題と考えられる。

### (3) のびのびと学び、夢と志を育むまちづくりに取り組みます

小・中学生ともに将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合が減少していることが気掛かりである。コロナ禍で鬱積した世の中の雰囲気の影響していることが考えられる。

しかし、そのような中であっても、学習意欲が向上していることは評価することができる。ICT教育の浸透により児童生徒が「学びやすい」と思える環境が整備されたことが一つの要因と考えられる。

### (4) 快適な生活を支える、コンパクトで安全・安心なまちづくりに取り組みます

避難路整備は当初の計画通り進行し効果も期待できるが、公表された津波浸水想定を踏まえ、今後の見直しを見据えた計画が求められる。

### (5) 質の高い持続可能なまちづくりに取り組みます

一人1日あたりのごみ排出量が増加しているが、コロナ禍で巣ごもり需要が増加し、連続して発生した福島県沖地震の影響も少なからずあるものと思われるが、同時にリサイクル率も低下しているため、分別意識の高揚を図る必要があると考えられる。